

# クリーンセンター 500m移転に232億円

ムダ

ムダ

ムダ

## 厳しい財政の中、甘い計画が許されますか？

山崎印西市長らが決めたクリーンセンター移転計画の事業費は約200億円。財源は、地方債が133億円、一般財源が27億円、交付金が38億円といます。しかし、地方債は利払いを含めれば167億円にもなるので、実際の総額は232億円。そのうえ「循環型社会形成交付金」は6年先にも保障されるかどうかは不確実なもの。地方債の返済額と一般財源だけでも各自治体の負担は、印西市が116億円、白井市が58億円、栄町が20億円。**住民1世帯当りでは、印西が34万円、白井が25万円、栄が23万円の負担**にもなります。組合の検討委員会は、建設予定地を選ぶ際の「経済性の判断」は、委員会としては行わず、最終的に管理者（山崎印西市長）らに一任しましたが、管理者会議では費用削減の検討もなしに、費用の一番かかる移転先を決めました。これから高齢化社会に向かい、どの自治体の財政も厳しくなるというのに、ムダ削減へのこの無神経さにはおどろくべきといいたくなります。

## こうすれば、100億円下がる

### 移転用地中止し再検討

高い予定地の購入を中止して新たな適地を再検討。

30~40億円↓

### 施設規模の再検討

現在の1日のごみ焼却量は110t。計画は焼却能力240tとするが、ごみ排出量が過大。印西市のごみ減量化計画からすれば、焼却能力160tで十分。設備費も下がる。

40億円↓

### 3号炉と施設延命化

現在の3号炉（1日100t）は稼働してまだ13年。計画のようなH30年の廃棄では20億円の残存簿価廃棄損がでる。施設の延命化は環境省の指針だ。

20億円↓

連絡会のHP⇒[http://blog.goo.ne.jp/gomishori\\_iss](http://blog.goo.ne.jp/gomishori_iss)

ゴミ処理施設連絡会

印西白井栄連絡会

で検索も可

ごみ処理施設を考える 印西・白井・栄 連絡会

NO. 4 2012年6月発行

【連絡先】 亀倉良一（印西）0476-46-7764 土屋昭彦（白井）090-4627-2451 林義光（栄）080-1302-1581

# いずれ建替えは必要だとしても… 問題ありすぎのズサンなこの計画

## 広報「かんきょうせいび」に反論する

印西地区環境整備事業組合は6月1日付「広報・かんきょうせいび」を発行、「印西クリーンセンター特集」で移転計画の正当性を宣伝しています。さっとみると「そうなの…」と思わされてしまいそうなQAですが、どれも抽象的で、肝心なことははぐらかし。以下反論します。

### ●よそでは25～30年でごみ処理施設を建て替えているというが…

組合は東京23区清掃組合が一般論としてあげている耐用年数25～30年という事例だけ紹介していますが、耐用年数は、それぞれの条件でちがうもの。1日300tの処理能力があるのに、110t程しか焼却していない印西クリーンセンターの傷み具合は同列で論じられないはず。よそでも、千葉県北谷津清掃組合は本年5月まで35年間稼働、成田市いずみ清掃工場は本年で閉鎖ですが35年間稼働。都内の杉並工場は36年間使用を計画するなど長期稼働の例は多くあります。H22年、環境省がごみ処理施設の「長寿命化計画作成の手引き」をつくり、地方財政ひっばく、資源エネルギー保全、温暖化対策上効果的であるとして、ごみ処理施設の35年などへの「長寿命化計画」を推奨しているのが今日の流れです。

### ●過大な「ごみ量推計」、過大な「焼却能力」、過大な「敷地面積」…

組合の新たなごみ処理施設案の土地面積は37,500㎡、焼却能力は日量240t。焼却能力は住民一人が一日に出すごみ量と人口数で決まりますが、印西市が発表した第2次ごみ減量化計画によれば、ごみ量は大幅に減り、処理能力を日量160tに減らせる見込みです。能力が240tから160tへと80t縮小されれば設備費は約40億円下がります。

また、敷地面積の37,500㎡を設備能力(240t)1t当りの面積に換算すると156㎡ですが、これは東京23区内9工場平均の3.1倍、千葉近隣5工場平均の1.8倍という過大な規模。

今年竣工する成田・富里清掃工場は敷地面積を決めるのに、千葉県や全国の設備能力1t当りの面積を調べていますが、組合ではこのような算出根拠は一切なし。もし成田・富里の事例にならえば160tの設備なら面積は2ha程度ですみ、土地代は40億円から21億円に減る計算。さらに安価な土地単価の場所を探せば10億円程度は容易に下げられるはず。組合管理者(山崎印西市長)は算出根拠を一切説明しないまま、こんな広い土地を40億円もかけてURから購入しようとしているのはおかしいと思いませんか。

### ●排出ガスによる公害の心配はないのか？

組合では、排煙は住民との協定値を遵守しているので健康に影響を及ぼしたことはないと言っています。協定値は工場の運転停止を決める基準値であって、住民の健康を保証する値ではありません。排煙の基準値について、組合が決めている現在と次期(案)はいずれも東京23区や近隣千葉地区工場(例・柏市第2清掃工場)と比べ、どの物質の値も高く最悪レベルです。住民は光化学スモッグの原因となるNO<sub>x</sub>や花粉と混合してアレルギーを誘起する煤塵、とくに次世代の子どもの生殖機能や学習機能・内分泌機能・免疫機能に悪影響を及ぼす恐れのあるダイオキシンなど排煙物質の安全性は疫学的に十分解明されていないために不安に感じています。

このため多くの自治体は、排煙の影響を少しでも避けて、焼却場は過疎の場所を選んでいきます。

### ●チラシ発行募金のご協力をお願いします

◆ゆうちょ銀行、郵便局窓口またはATMから  
口座番号 00270-4-140695  
加入者名 ごみ処理施設連絡会